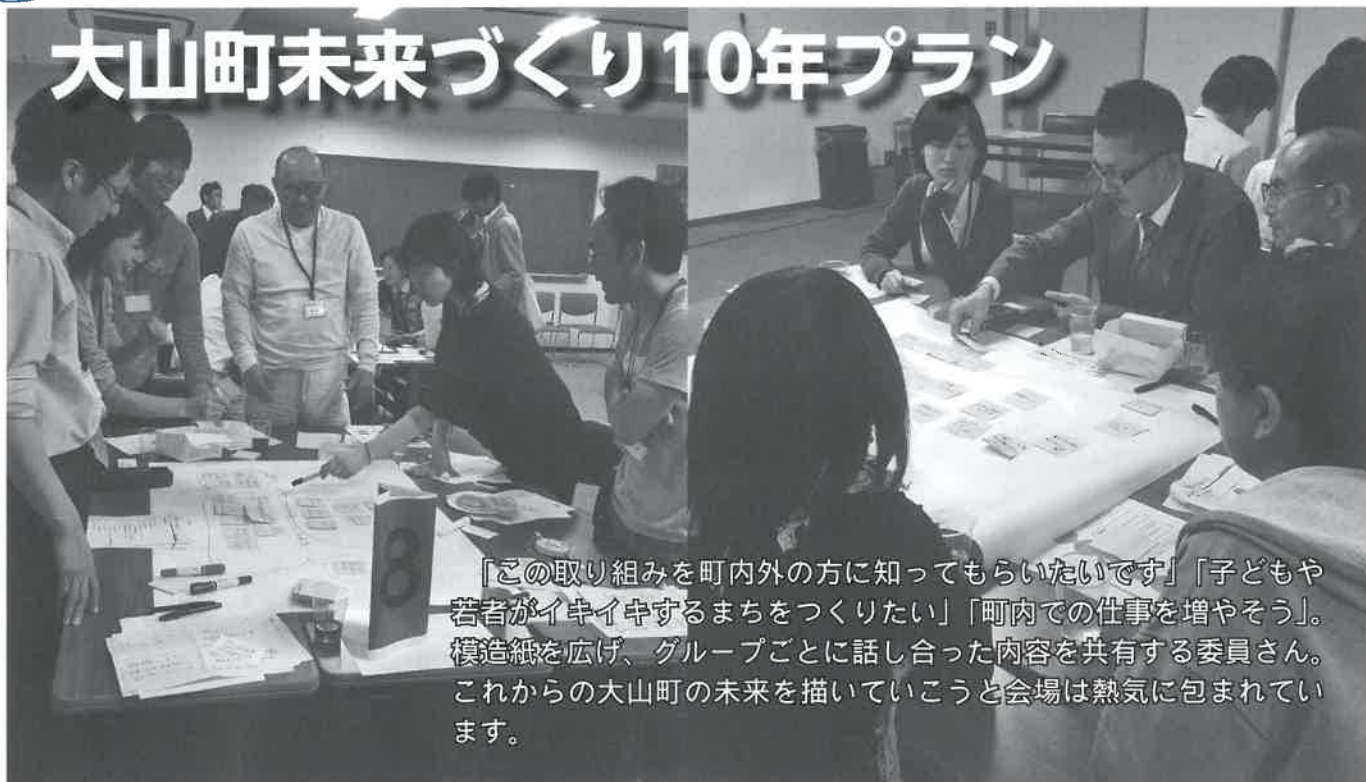


大山町未来づくり10年プラン



「この取り組みを町内外の方に知ってもらいたいです」「子どもや若者がイキイキするまちをつくりたい」「町内での仕事を増やそう」。模造紙を広げ、グループごとに話し合った内容を共有する委員さん。これからの大山町の未来を描いていこうと会場は熱気に包まれています。

始まる！

第1回素案策定委員会

5月9日（金）、平成28年度からスタートする総合計画「大山町未来づくり10年プラン」の第1回素案策定委員会が役場本庁舎で開かれました。会場には、大山町の未来をより良くしたいと、町内外からの老若男女の有志、若手役場職員が集まりました。

委員会の開会にあたり、この事業のコーディネート役を務める「株式会社スタディオール」の担当者から、人口減少社会がもたらす影響についての説明、地域住民が「公共」と協働していくことの意義が伝えられました。

その後、グループに分かれて、委員会の役割などについて話し合いが行われました。

素案策定委員会の

メンバー構成

素案策定委員会委員の公募には、町のホームページ、チラシの各戸配布のほか、フェイスブックなどのSNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）を活用しました。

その結果、10代から70代までの幅広い年齢層から、当初の予定を大幅に上回る応募があり、素案策定委員会のメンバーは、一般公募委員51人と、役場の若手職員25人の計76人で構成することとしました。

委員会は

ワークショップ形式

今回の計画策定におけるキーワードは、「計画づくりは、人材づくり」です。

住民のみなさん自らが、大山町の未来のために「何をしたいのか」「何をすべきか」を考えて実践していきます。

この会では、自分の意見を付箋に書くなどして、誰もが発言しやすい場をつくる「ワークショップ」という手法を取り入れています。さらに、「話し合いのルール」も設けました。

それは、「本音で話す」「人の話をきちんと聞く」「全員が発言する」「意見の否定をしない」です。

こうした工夫をすることで、委員会の活性化をはかるとともに、各委員それぞれのアイデアを起想するきっかけや意欲につながっていきます。

この会は11月まで毎月開かれます。そして12月にはお披露目会として、検討結果を住民の皆さまへ発表する予定です。

また、来年度は出されたアイデアを試験的に実施することとしています。

◆問い合わせ先

企画情報課・未来づくり戦略室

☎0859・54・5202